

●「赤心」継がん

Dream

五代塾

GodaiJuku

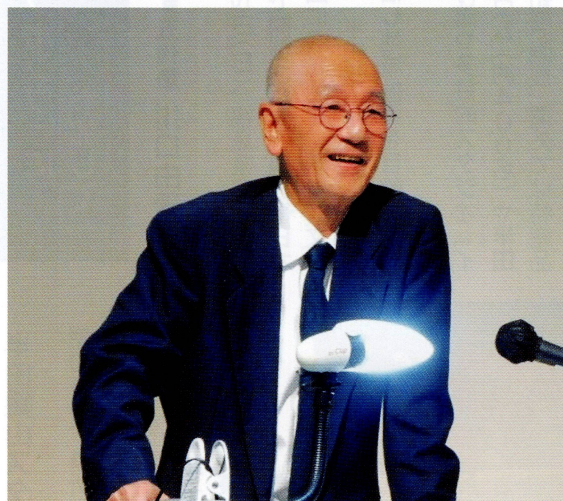
Sinbun (新聞)

第23号

発行：Dream 五代塾

吹田市千里山西 5-14-17

発行責任者：理事長 川口 建



演題「回復された五代の名誉」
第8回 Dream 五代塾セミナーで講演中の八木孝昌顧問
(大阪市立住まい情報センター・ホール)

2023年4月23日 奈良新聞社竹村順弘記者写真

諸行無常

外出先で鳴った私の携帯電話。
十月十九日、八木孝昌先生の訃報を川口建
理事長より伺った時、一瞬足元がふらつき
ました。享年八十三。

一週間前、いや八日前の十一日にお互い
Dream 五代塾の顧問として八木先生と私は大
阪難波で数時間にわたって「五代塾新聞」につ
いて打ち合わせをし、更には時局と国家の将
来を憂いて談論風発して時を過ごしました。
そして竹葉亭で舌鼓をうってお別れしたばか
りだったのでした。東京で聞く川口理事長か
らの電話は無情でした。難波駅での八木先生
との離別は何を期しての平常と変わらぬも
のであったのですから…

八木先生との交流は、九十一歳の私にとっ
ては短期間なものでした。然し五代友厚豊子
夫妻の名誉回
復を期す目的
のある我々両
名にとつては
年齢を超えた
同志的な繋が
りがありまし
た。四年前、令
和二年五月の
ある日、私は
久しぶりに
Wikipedia で
「五代友厚」
を検索してい
ました。する
と初めて知る

最初にお会いしたのは二年前の令和四年十
月十四日、八木先生の東京お茶の水の定宿の
ホテルのロビーでした。二回目は昨年四月二
十三日、大阪で盛大に開催された第八回「五代
塾セミナー」に於いてでした。散会後の懇親会
場に向か
う道すがら
川口理
事長に撮
って頂い
たのが唯
一の二人
で並んだ写真です。



左八木氏、右曾野氏
2023年4月23日

五代友厚豊子夫妻の名誉回復に人生の最後
をかけた八木孝昌先生、どうも有難うご
ざいました。天国で五代夫妻とゆつくりとご
歓談ください。そして地上では大阪市立大学
卒業生や初代会頭を務められた大阪商工会議
所、私の外曾祖父永見米吉郎が初代肝煎(今の
専務理事か)を務めた大阪株式取引所等々に
関与する多くの方々の今後の繁栄を見守って
頂きたいと思います。大阪は大丈夫です。

合掌

追悼

嗚呼 八木孝昌先生

Dream 五代塾 顧問 曾野豪夫

八木孝昌という方が近々『新・五代友厚伝』を
刊行されるこの記事が目飛び込んできました
た。私はそれを凝視しました。すぐに大阪市立
大学同窓会「有恒会」に「曾野」を送り、自分
は五代家と多少のゆかりのある者で母方の伯
父から譲り受けた手持ちの五代友厚関係の資
料を著者の八木孝昌先生に提供したい旨連絡
をしました。折り返し八木先生から連絡があり、
「曾野」での交流が始まりました。お互い
に宵つ張りで午前一時、二時頃のメールの送
受信がありました。私は一時半頃迄には寝る
ようにしていました。朝起きてパソコンを開
くと午前二時、三時台の先生からのメール
が入っていることもありました。何れも私の
疑問に応えるとか愚文を修正して下さるも
のばかりで感謝々々のメールでした。万葉集
の研究者だった八木先生の立派な文章を見習
うこともしないで我流の文章を書く私を叱責
もせず対応して下さいたことに頭が下がる思
いをしておりました。

でだれも与り知らぬことだが、とにかくお互
いに目標を以って生きてゆきましょう、と励
ましあいました。私は八木先生が八歳年長の
私を叱咤激励して下さったものと有難く受け
止めていました。その先生が卒然として往生
を遂げられ、呆然自失とならざるを得ません
でした。

八木先生は翌十一月三日に新著『五代友厚
名誉回復の記録』教科書等記述訂正をめぐつ
て『(たる出版)』の発表会があり、「この書籍の
発刊により五代友厚の汚名挽回の手立てが後
世に残ることになる。曾野さんにも一冊謹呈
しますのしばらくお待ちください」と語り
ながら見本印刷は完成しているが背糊が処理
されていない完成本の見本を見せて下さいま
した。

また前著『新・五代友厚伝』(吉田 研究所)
三、〇〇〇部が完売された由八木先生から伺
い、私は驚きと共に喜びを申しあげたので
した。あの堅苦しい、私でも一行々読み進む
のに時間がかかる書籍が三、〇〇〇部も売れ
たとは！と。増刷のご計画は？と伺つたら、最
初に出版社との契約で第二版以降は「Kindle
版」とするという条項が入っていることを後
日知ったので、残念ながら増刷はできない、と
のお返事でした。私はちよつと寂しい思いに
なりました。

「半田銀山シンポジウム」に 参加して

Dream 五代塾 川口由美子

五代晴れの11月10日(日)、福島県伊達郡桑折町(こおりまち)で開催された。過去に日本三大鉱山として全国に名を馳せ、歴史と文化の物語に満ち溢れた「半田銀山」をテーマとして、全国に情報発信し地域振興を目的に行われた。

本会場は町民体育館や多目的スタジオ「イコゼ」でシンポジウム(約400名)や半田銀山企画展・安彦良和原画展、屋外では特産品の販売や半田銀山そば・軽食コーナーなどが設けられ大勢の来場者で賑わった。副会場はスタディーツアーとして半田山自然公園と半田銀山史跡公園を歴史案内人との周遊が企画された。

五代友厚による銀山再興 150 年記念イベント 「半田銀山シンポジウム」

人・自然・文化・経済が織りなす歴史遺産～産銀高日本一に至る物語

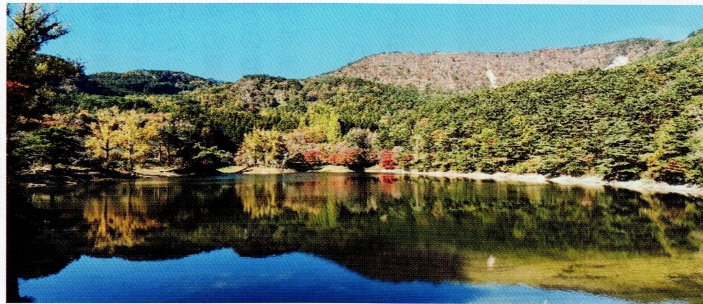
半田銀山は江戸時代初期に本格的に開山され、中期には上杉景勝が開発を奨励し1664年に幕府直轄領となった。幕末に一度閉山したが、明治に入ると薩摩藩出身の五代友厚が1874年に近代技術を導入し再興した。1881年からは産銀高日本一を記録した。今年2024年は五代友厚が再興し150年にあたる。

余談であるが、鉱山事業の弘成館(大阪)には西郷隆盛による扁額に「誠心貫鉄石」と書かれ、この言葉は印章としても使用していた。

半田銀山スタディーツアー

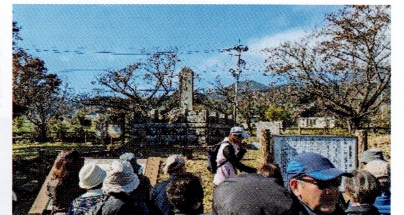
朝の9時、桑折町役場前より4台のバスに分乗しスタート。同じバスには、脚本家の大森美香さん、漫画家の安彦良和さん、声優の佐々木るんさん、五代友厚顕彰会の方々、NHK他マスコミ数名と豪華なメンバーで半田山自然公園内半田沼↓中舗坑跡入口↓半田銀山史跡公園内鉱石運搬軌道跡石垣↓明治天皇行幸記念碑↓五代神社と約3時間をかけて歴史案内人と共に見学した。

この半田銀山はDream五代塾新聞22号の八木孝昌顧問の記事で、片岡春卿「弘

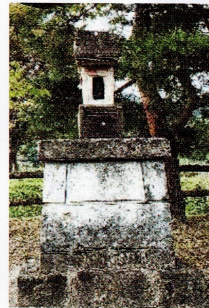


上右 半田沼と奥は半田山

上左 中舗坑跡入口
中舗坑跡入口付近
絵図面と抗口・抗内
写真の説明風景



上 半田銀山史跡公園全体説明風景と
明治天皇行幸記念碑
左 五代神社
下 鉱石運搬軌道跡石垣



成館事業要約」の中に「五代友厚の事業で鉱山は何れも深山幽谷にして人跡稀なるも一鉱業の興るに従ひ、数千の人員各家族と共に此に衣食するを以て、従前僻陬(へきすう)荒蕪(こうぶ)の地も忽ち小繁華と化し・・・」と言うように150年前のこの半田銀山は非常な賑わいがあり、「豈(あに)美業と云わざる可(べ)けんや」であった。現在では静寂に包まれ、沈殿沼(水質改善のための人工沼、溜池)の周りを町が整備した憩いの公園となっている。

銀山の片鱗は坑道の入り口や、鉱石を運ぶトロツコのための橋脚跡にわずかに見ることが出来るだけだが、この150周年記念イベントをきっかけにもっとたくさんの方々が桑折町を訪れ、いにしえの人たちが命を懸け国の殖産の為に働いていた事を理解して次に繋がるようになればと思う。そのきっかけとなるシンポジウムが午後の部である。

シンポジウム

11時50分よりスタート。最初は半田銀山祇園ばやしを半田釀芳小学生有志の太鼓の演奏があり、続いて伊達氏発祥の地であり銀山中興の祖である上杉景勝と半田銀山という演武

とミニ芝居を「やまがた愛の武将隊」が楽しく演じられ盛り上げられた。

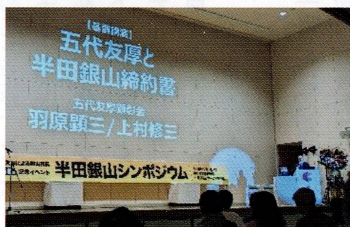
話はそれるが桑折町の阿武隈沿いに半田山を背景に広大な桃畑があり、春にはその花々が美しい桃源郷となり、夏には立派な桃を産出している。その中でも「あかつき」と言う品種は献上桃として特に名品となり、またリンゴの品種である「王林」発祥地とのこと。会場の周辺ではこの桃やリンゴを使ったゼリーや、キャンディーまた半田銀山蕎麦が大人気で昼過ぎには完売となっていた。引き続き桑折町こども歴史案内人5名が半田銀山の歴史を語った。



こども歴史案内人の語り

次に、本来ならば八木孝昌先生が演題「五代友厚と半田銀山締約書」を基調講演される予定であったが、急逝されたため、五代友厚顕彰会の羽原顕三氏と上村修三氏が八木先生への想いを込めて講演された。

明治7年に日本初の半田銀山締約書(公害防止協定)を付近の農民側と交わしているが、この締約書は画期的、先進的でありモデルケースとして普遍化され、教訓とされている。明治21年に顕在化した足尾銅山鉱毒事件は防ぐことが出来たという事と、この半田銀山で働く人々に対する労働条件は今でも色褪せることのない素晴らしいものであったと八木先生は講演で強く訴えたかった事です。



五代友厚顕彰会羽原・上村両氏の講演

また、2022年3月に関西テレビで放映された『大阪市大OB 五代友厚 名譽回復』ビデオが流され、最後に八木先生が五代さんに心から謝らなければならないとおっしゃっていたのが印象的でした。しかしその後、八木先生自らが日本史教科書の記述修正を果たされ五代の名譽回復を実現された。当時五代さんは沈黙し濡れ衣を着たま一切の弁明をせず、昨今まで悪徳政商のようにイメージされていた。五代さん自身が住友の大番頭広瀬幸平に宛てた手紙に沈黙の理由が書かれていた。

「・・・青天白日いさかも天地に恥じず 何を屈することなどあろうか 政府には必ず深意があると信じ 私は弁明したい気持ちを持っていた・・・」とある。まさに五代さん！ 今その疑いが八木先生によって晴らされました。

次に、NHK朝ドラ「あさが来た」で五代さんを演じたディーン・フジオカさんのビデオメッセージが流され、五代友厚公を演じることで自身の人生が大きく変化したことに変感謝し、五代さんの生き方に開拓者としてのシンパシーを感じ、これからも果敢に挑戦していきたいとのことであった。

脚本家の大森美香先生は演題「脚本家から見た五代友厚」で講演された。ディーンさんが演じたNHK朝ドラ「あさが来た」やNHK大河ドラマ「晴天を衝け」で五代友厚のセリフを考えられた。「晴天を衝け」では八木孝昌先生の『新・五代友厚伝』の北海道開拓使官有物払い下げ事件を参考に、渋沢栄一、伊藤博文に「五代友厚の新聞記事は濡れ衣だ」とはつきりセリフに入れることができたとおっしゃっていたのが嬉しかった。

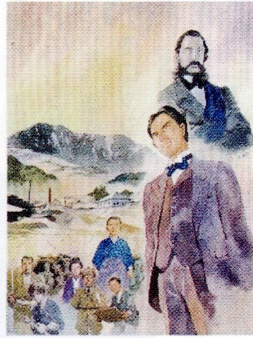
やはり脚本家としても五代さんは魅力的な人物であり、いつかは五代友厚を中心に描いてみたいとのこと。本当にこれも夢のある嬉しい話であった。

この講演を聞いてふと思いついたことがあります。八木先生は大森先生と一度お会いしておられ、その時、大森先生の手持ちの『新・五代友厚』に付箋が一杯貼ってあり「私は八木先生の本を誰よりも読み込んでいますよ」と聞いて大変感激し嬉しかったと話されていた。小さなエピソードです。

最後は半田銀山の絵図面師を曾祖父に持つ漫画家で機動戦士ガンダムの安彦良和先生が声優の佐々木るんさんと対談。お二人は40年来のお付き合いだそうです。ガンダムの裏話や次の作品の話が全国からファンの方々が目を輝かせている姿がとても純真でそれを見ていただけでも夢が広がる思いがした。

今日のシンポジウムで、安彦先生ファンの方が大勢参加し、半田銀山の歴史と共に五代友厚を知ることができたことは、今後の五代さんを顕彰していく上では大きな存在になったことだと思つた。

先生は今回のPRポスターのイラストを描かれましたが、このイラスト



PR ポスター原画：安彦良和

ト内に曾祖父の姿（一番下の真ん中でキャンパスを持った青年）を入れているとは安彦先生さすがです！！

安彦先生は機会があれば「五代友厚歴史漫画を描くのもいいかも・・・」と話された。実現すればもつと一般の方々に五代友厚を知ってもらえると思うのだが・・・期待したい。

閉会式では主催者桑折町教育長の挨拶があり、長丁場のイベントは盛り沢山の内容で飽きることなく興味深く聞くことができ、大成

功の内に終了となりました。

このあとは安彦良和先生のサイン会に100人以上のファンが並び、今日の五代晴れの太陽は喜び一杯で、次のステップへと繋がる期待を膨らませ、静かに半田山へと戻って行つた。



佐藤浩哉教育長の閉会挨拶

今まで、点であった五代さんへのそれぞれの思いが、未来への面となって繋がっていくという実感が湧き上がってきたことが本当に嬉しいイベントであった。

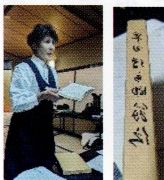
このような機会を作って頂いた、桑折町、桑折町教育委員会、桑折町スタッフの皆様、五代友厚顕彰会の皆様には重ねて深く御礼申し上げます。八木先生の想いは次世代へ必ず繋がっていくであります。

(追記) 10日の記念イベント前夜、大阪の参加13名と演者のために桑折町



の方々と心温まる交流会を開いて頂きました。桑折町からは半田銀山や五代友厚への想い、大阪からは五代友厚顕彰会などの活動状況など情報交換し、大変有意義な一時を過ごしました。この会を企画して頂いた桑折町教育委員会教育長の佐藤浩哉様他事務局様、シンポジウムの司会を勤められた若槻麻美様、声優の佐々木るん様、ありがとうございました。

奥州・羽州街道の分岐点で桑折宿追分の地にある仙台屋さ



ん。大変美味しい料理と女将の鈴木キヨ子さん(兼教育委員)のおもてなしをうけ十分満足致しました。

有り難うございました。

五代豊子さんの縁につながる者たち

萱野真美
萱野直子
萱野真一
森山治、由紀
森山薫子
堂本洋子
堂本敏雄、路子
佐々木恵津子
堂本毅、瑞希
細川友里恵、智史
宮地亀三
永見英厚
永見俊子
富田正幸、優香
富田美香
曾野豪夫、昌子
曾野正照
曾野義正
曾野健三、和子
曾野弘士、飛鳥
曾野遥奈
曾野正之、裕子
曾野由大、る美
香月喜久子
香月康伸、ゆかり
香月悠佑
香月よしの
松本信哉、麻里
松本康宏
嶋田尚三郎、真知子
大野昌信、眞巳子
児玉輝
谷口邦夫、典子
溝淵厚子
出来かつみ
出来陽子
北村正
大藤明子
(纏め役 曾野豪夫)

『新・五代友厚伝』著者 八木孝昌先生の偉業を称え、 ご逝去を悼み謹んでお悔やみ申しあげます

Dream 五代塾活動状況

◆五代友厚顕彰墓参会

9月25日(水)大阪市
設南霊園において16時
から墓参会を執り行っ
た。

最初に川口建理事長
からの挨拶で Dream 五
代塾が創設から4年継
続できたこと、また
Dream 五代塾新聞は皆さ
んの御協力があり22号
まで発行でき、これによ

って五代さんの事績の検証
と読者の方たちへの情報提
供ができた事などの報告が
あった。

八木孝昌顧問からは先の
「開拓使官有物払い下げ事
件」の名誉回復と教科書記述訂正活動が決着
したと同時に、その経緯記録を書いた新書『五
代友厚名誉回復の記録・教科書等記述訂正を
めぐって』が11月に発刊されることの報告が
あった。

その後五代友厚公に献杯と「赤き心」(作詞
八木孝昌 作曲堀内圭三)を参列者全員で歌唱
した。

墓参後は懇親会会場に
移動し、皆さんで楽しい時
間を過ごした。



◆第18回五代塾セミナー実施

10月19日(土) 定例(偶数月第3土曜日)
のセミナー(五代友厚勉強会)を開催した。
(参加者9名)

「堺事件 国を背負った奮闘」をテーマに、勉
強会開催。

堺事件とは、慶応4年
(1868)2月、堺の警
護にあたった土佐藩
兵が上陸したフランス兵
とトラブルになり、銃撃
し殺傷した事件。土佐藩
兵が発砲したフランス兵が
11人殺害された。事件後
フランス公使ロッシュ
は、土佐藩の隊長及び加
害者の斬首、15万ドルの賠償金支払いなど5
ヶ条の要求をした。新政府は土佐藩兵20人の
切腹をすることでこれを受け入れた。切腹は
妙国寺で行われ11人執行で中止された。これ
が大まかな流れである。



この事件について伝記的な著書は多く存在
するが大きな間違いや誇張した表現が多く
『新・五代友厚伝』(以下本書という)ではこ
れらを精査し根拠を示し修正している。

ここでは一つの例として紹介するが、そも
そもトラブルが発生し銃撃した原因は双方偶
発的に起こったことなのか、計画的攘夷事件
なのかという見解が著書によっては真逆な内
容で書かれて伝えられているが、本書では土
佐藩が周到な準備の上起こした攘夷事件とし
てフランス兵には非がないと結論付けしてい
る。

土佐藩兵隊長の上申書や土佐藩士たちを攘
夷の烈士として称え顕彰したいとする佐々木
甲象著『堺列拳実記』や、これを基にした森岡
外の『堺事件』などが、フランス兵が堺の町で
「乱暴」「女性をこらえて狼藉甚だしい」「隊旗

を奪い」...このような大暴発の外国人をそ
のまま返しては国辱になる。というような正
当性を述べやむなく発砲したという論調であ
る。『堺市史』は後記する明治新政府の公式文
書等を参考にしながらも土佐藩サイドの主張
を多々反映した論調であり、且つフランス兵
に非はないとはいっていない。

一方、『御触并風説留』(おふれならびにふ
せつとどめ)これは町奉行の配下で民政にあ
たる町人が町役人の立場で書かれた記録文書
で、ここには町の中で先のフランス兵の暴行
などは一切書かれていない。むしろ「フランス
兵は浜へ上がった遊んでおり、町々の男女が
見物に集まっていた。ところが土佐藩兵が30
人やってきて異人に発砲し、見物人は肝をつ
ぶし散り乱れ大騒動。陸から激しい発砲が続
き異人13人程が即死した。」と書かれている。

また、五代友厚らが調査した「外国掛上申書」
(明治新政府の公式見解)やフランスサイド
のジャーナリストや艦長などの報告書などは
町役人同様の論調となっている。著書として
は本書は勿論のこと、大岡昇平『堺港攘夷始末』
も同様である。

残念ながら五代龍作や宮本又次などの『五
代友厚伝』は『堺市史』を参考にしており前者
の論調となっている。

大阪市大同窓会が本書の執筆を八木孝昌先
生に依頼されたのは、正しい五代友厚伝記を
書いてほしいと依頼されたので、八木孝昌著
『新・五代友厚伝』は大変意味ある伝記本とな
った。

以下紙面の都合で割愛します。

◆第19回 Dream 五代塾セミナー予定

日時: 12月21日(土) 14時~16時 (500円)
場所: 川口宅 勉強内容: 進行(川口建)
教材: 「開学の祖 五代友厚小伝」全18話
(著者八木孝昌・非売品)
テーマ: 第8話「大阪外国掛の仕事」

編集後記

10月19日の八木先生のご急逝は本当にシ
ョックで悲しい知らせでした。

先生とは9月25日、五代さんのお墓参り
でお元気にお会いして、懇親会で五代さんに関わって明るくなられた
んじゃないですか? とお尋ねしたら「本当に生活が大きく変わり楽
しくなった」とおっしゃっていたのが印象的でした...

先生との交流を思い出しながら、新しい年へ、五代さんをお一人
でも多くの方に知って頂くために頑張りたいと思います。どうぞ
今後ともよろしくご指導お願いいたします。皆様から情報を心か
らお待ちしております。くる年が更に皆様にとって良い年となります
よう心よりお祈りしております。(川口由美子記)

(連絡先: 川口建)
Email: gogoken12345@gmail.com
Tel: 080-4497-5688
HP: <https://www.dream-godai.com>



2025 年度 Dream 五代塾会員募集

24 年度会員の方で 25 年度も継続会員となって頂ける方及び新
規に会員に入会して頂ける方を募集します。当会は開講し 5 年
目を迎え一つの区切りの年ともいえます。共に五代友厚を学び
たい方の入会をお待ちしています。

尚、郵便料金等諸物価の値上げの影響で年会を 2,500 円 (旧
2,000 円) に改訂させていただきますので御了承ください。

(2025 年度年会費対象期間は、1 月 1 日~12 月 31 日です)

入会して頂ける方は、郵便局・ゆうちょ銀行の以下の口座へ振
込お願いいたします。

◆口座記号番号: 00920-4-198557

◆加入者名: 川口建